

ふくしまの 「家庭学習スタンダード」

Research
自分を知る



Action
見直す

Plan
計画する

授業は先生や友達と力を合わせて……
家庭学習は自分の力で……
だから育てたい!

自己マネジメント力

現代の子どもたちは、テレビやゲーム、スマホなど、誘惑が多い環境の中で、家庭学習(宿題+自主学習)に取り組んでいくことになります。

だからこそ、「R-PDCAサイクルを通して、自分で学習や生活を改善する力」、つまり、「自己マネジメント力」が必要になるのです。

Check
確かめる

D.
自ら学習する

変化の激しい時代にあって、子どもたちが、豊かな人生を切り拓き、よりよい社会の創り手として成長していくことは、私たち大人の共通の願いです。そのような子どもたちの未来像を描くとき、学校での学習はもちろんのこと、家庭での学習を充実させていくことがとても大切になります。

本リーフレット「ふくしまの『家庭学習スタンダード』」は、子どもたちに、家庭学習を通して「自己マネジメント力」を育みたいという願いを込め、作成しました。本リーフレットを仲立ちにして、学校、家庭・地域がそれぞれの役割を果たし、子どもたちの家庭学習を充実させていきましょう。

- 家庭での学習や生活の問題点、課題などに気付かせる機会を設ける。
- 学習や生活の振り返りができるチェックシートなどを活用し、自己診断できるようにする。など

- 学習や生活の目標、計画を立てる機会を設ける。
- 目標のポイントを掲示するなど、常に意識するよう促す。など

- 一定期間の実施表などを準備
- 毎日、実行状況

R esearch 自分を知る

自分の課題を客観的にとらえる。

P lan 計画する

自分の課題にそった目標や計画を立てる。

D o.

計画にそつて

期待する子どもの姿

学習時間が少し
たりないな。

(学習時間)

自主学習ノート
を1日1ページ
やっているけれど、なかなか成
果が出ないな。

(学習方法)

漢字や計算は得意
だけれど、文章問題
が苦手だな。



毎日〇〇分
学習するぞ。

(学習内容)

説明文を書く
学習を取り入
れてみよう。

(生活)

ついつい寝るのが
遅くなってしまうか
ら、授業に集中でき
ないな。帰ってから
夕食までの時間が、
もったいないな。

毎日、文章問題に
挑戦するぞ。



さあ、学習の時間だ
今日も、〇〇分頑張

今日は、□□に
についての説明
文を書くぞ。

夕食前に、少し
でも学習するよ
うにしよう。



「自己マネジメント力」を



心の支え



環境づく



小学校低学年 では、学習態度 の育成を!

小学校低学年では、
望ましい学習態度を
育成することが大切
です。

- 宿題をきちんと
やること
- 鉛筆を正しく持
ち、丁寧に文字を
書くこと
- 正しい姿勢で学
習すること
- 声に出して、はっ
きり読むこと

などを意識させ、しつ
かり身に付くまで関
わってあげてください。

小学校中学年頃か
ら、計画性や自分を
振り返る力を徐々に
伸ばしていきましょ
う。

難しいところはあった?
できるようにするために
は、どうしたらよいかな?

□□になるためには、
△△をやってみるの
もよいかもね。

あなたは、もの
を教えること
が上手だね。

こつこつと頑
張れるって、
すごいことよ。

将来は、どのよう
な職業に就きたいの?

人は成功するより、
失敗することのほう
が多いものよ。

ずいぶん集中
して頑張って
いたね。

この前のテス
トで、□□が
できていたね。

ちょっとした変化
に気付いて、認
めてあげることが
大切ね……。

他のお子さん
と比べないよう
に、気を付けな
いと……。



新聞に□□につ
いて載っていた
よ。読んでごらん。



プリントを整理
するファイルが
必要ね。

来週の日曜日、
□□□に行って、
一緒に調べよう。

□□体験セミ
ナーに参加し
てみない?



調べてまとめる学習も大切
であることが、学年だより
に書いてあったわね……。



読む
こと

- お子さんが「自分のよさ」を自覚したり、将来の夢や目標の実現を意識したりできるようにする。
- お子さんのノートや学習プリントなどを見て、頑張った過程を認める。
- 学校からの依頼に応じて、保護者からのコメントを書いたり、確認印を押したりする。
- 自分の成功体験や失敗体験を話す。など

- テレビを消すなど、お子さんが集中して
をつくる。
- 目が届くところにいて、お子さんがいつ
環境をつくる。
- 地域行事の予定などを、前もってお子さん
に紹介する。
- 興味をもちそうな本や新聞記事を紹介す

施状況を記録できる「計画
備する。
のコメントを書くよう促す。
など

- これまでの学習を振り返り、成果と課題を明らかにする機会を設ける。
- 成果を上げた取組を確認したり、課題を分析したりするよう促す。 など

- 改善のための目標を明確にする機会を設ける。
- 新たな目標を基にした計画を確認し、励ます。 など



自ら学習する

主体的に学習する。

Check 確かめる

学習の結果や取組を振り返り、確かめる。

Action 見直す

学習の内容・方法を見直し、修正する。

るぞ。

計画実施表に、「文章問題が思つた以上にできた」と書こう。

学習内容が難しくなってきて、○○分では終わらない日が多くなったな。

毎日、文章問題に取り組んでみたら、テストでもできるようになってきたぞ。

自主学習の時間を、平日は○○分、休日は○○分増やしてみよう。

もっと難しい問題にも挑戦してみよう。



部活動で疲れたけれど、頑張って学習するぞ。

説明文を書くと、内容が分かるようになるな。

やっぱり夕食前に少しでも学習すると、気持ちに余裕が出るな。

これからも続けていこう。



夕食前に、読書をしてみるのもよいかな。

育む家庭・地域の関わり

リ



習慣づくり

□曜日は家族みんなで読書をしましょう。

すぐに学習を始められたね。

計画では、1日○○分だったよね。

目標を貼っておくと、やる気が出るわよ。

今度のテストに向けて、どのような目標を立てるの?

□□検定に挑戦してみたらどうかな。

夕食は、○時を目安に食べましょう。



ゲーム、スマホは○時までね。



は、集中力を高め
果もあると聞いた
があるな……。

私も早寝・早起きを心がけないと……。



子どもとルールを決めることが大切ね……。

学習できる環境

で相談できる

に知せる。

など

- お子さんに、やらなければならぬことややってほしいことなどを気付かせる。
- 「起床時刻」、「就寝時刻」、「学習を始める時刻」を決める。
- 家族みんなで規則正しい生活を心がける。 など

お子さんと一緒に家庭学習を振り返ってみませんか?

- 学習する場所を整理している。
- 正しい姿勢で学習している。
- 目標をもって学習している。
- 計画を立てて学習している。
- 学習する時間帯を決めている。
- 集中して学習している。
- 宿題以外の学習もしている。
- 苦手な教科も学習している。
- 様々な分野の本を読んでいる。

家庭学習を充実させるための家庭・地域の3つの視点

福島県教育委員会教育長からのメッセージ

お手伝い。 体験、実感、感謝の心。

子どもに家事を手伝わせることは、勤勉性を育み自立を促すとともに、自己肯定感や感謝の気持ち、コミュニケーション能力を養うことにもつながります。年齢に応じて、積極的にお手伝いをさせましょう。

福島県PTA連合会長からのメッセージ

今こそ必要、大人の背中

昔から「子どもは親の背中を見て育つ」と言います。大人の背中には、子どもたちに明るい未来を指し示す発信力があるのだと思います。子どもたちが誇りをもち、夢をもち、将来に希望と自信のもてる教育環境をつくりながら、今後も子どもたちのためにどうあるべきかを、大人の背中で考えてまいりましょう。

視点
1

心の支え

- **コミュニケーションを大切にし、お子さんの言葉に耳を傾け、心に寄り添ってよき話し相手になります。**
- **自信をなくしたり、学習成果に不安を感じたりしているときには、安心感を与えてあげましょう。**



視点
2

環境づくり

- **学習する場所を整理し、集中できる環境をつくりましょう。**
- **家族で一緒に読書をする機会を設けましょう。**
- **図書館・公民館などの利用や体験活動を促しましょう。**
- **地域行事に積極的に参加させましょう。**



視点
3

習慣づくり

- **早寝・早起きやお手伝いの習慣を身に付けさせましょう。**
- **朝ごはんは、必ず「毎日」、できるだけ「みんなで」食べましょう。**
- **テレビやゲーム、スマホなどをするときのルールを決めましょう。**

取組
1

共通理解を図り指導します。

- 学年に応じた「家庭学習の手引き」などを作成するとともに、全教員が共通理解を図って指導していきます。
- 宿題の内容や量について、教員間で話し合い、調整していきます。

取組
2

授業と家庭学習をつなげます。

- 学習内容に応じて、宿題(復習、予習)を効果的に活用した授業に努めています。
- 授業で学習したことの活用できる場面や方法を紹介しています。

取組
3

内容・方法を指導します。

- 学習内容や方法、時間、ノートの使い方などを示した手引きなどを継続的に活用し、学習の仕方を指導していきます。
- 「調べ、考え、書く」を中心とした活用型の宿題にも取り組ませていきます。

取組
4

協力・連携体制を築きます。

- 地区の小学校同士や小中学校間で、家庭学習の内容や方法などについて共通理解を図り、取り組んでいきます。
- お子さんや保護者の、家庭学習に関する悩みや要望を把握し、相談する機会を設けていきます。